川 町 西

No. 3



川西中学校前附近の県道舗装状況)

きよう(十一月十日)合同竣工式 業この

あります。

ひそかに、意を強くした次第で

はや一年になりました。計画性

わたくしも、町政を担当して

見して、 みなさんの町政に対す ありますが、その盛況ぶりを拝

る熱意さえ感じとることができ

根津正三

ことしの収穫期もすぎて、ます りに町民体育祭 はご同麼にたえません。 さる十月十三日には、四年ぶ 史上まれな大豊作のうちに、

をひらき、各地 区の選手、大応 今回、はじめて行なう合同域



るよう念願してやみません。 い町づくりに対する理解が深ま **多実現いたした** くという発想か ひいては、新し 町の建設事業 行事であります が、この機会に

愉快に、心をひ のみなさんが 授団以下,多数

とつにした一日

をすごしたので

行財政計画の樹立が必要であり するためにに、重要度とか緊急 いりました。 度に応じた、より効率のたかい り、これらの新しい課題に対処 以前からの塞案事項はもとよ

毎日の生活がつづいてゆきます。 のなかでも、降雪前にどうしてもきまりをつけてしまう 冬をむかえる前衛戦から本格的な雪とのたたかいへと、 号として特集し、みなさまにお知らせいたします。 の状況はどのようになっているのか、町政のひろば第三 が、上木、産業、教育、その他の分野で、この建設專業 必要があるものとして、建設関係の事業があるわけです 日常にも、季節に応じた表情があるように、町の事業 きだ一部の事業については、失完成のまま残されてい 昭和四十三年度も、すでに後半にはいって、こんごは

町の建設事業を集成した合同竣工式を実施するはこびに るものもありますが、きょう十一月十日、千手小学校で までときつけたとともご報告いたします。

当町でも、目下、真剣にとの間 題と取り組んでおります。

経費のむだを省 工式も、時間と

安全対策や遅疎問題などの、新 会の急激な進歩につれて、交通 い分野の財政需要が生じてま ど承知のように、最近は、社 てまいりたいと存じております を目標にこんごも努力をつづけ ので、いっそうのご協力をお願 のある町政、明朗で健全な姿勢 いいたします。

1

えるものでした。

用地質収などの経過については

要望、それは、まさに悲願ともい 動場が欲しいという学区あけての が完成してから、りっぱな屋外運

ド拡張が

ドに恵まれないということです。

昭和三十一年に現在の鉄筋疫舎

たひとつの泣きどころは、グラン

折りの干手小学校にとって、たっ

全国特選校として指

ことしの健康優良学校県一位校

十年余の願いをこめて

買収した面積は二千六百二十三平

ら拾っていただきたいのですが**、** 最下段にまとめた』あしあと』か

がとびまわる口もまじかです。

新しいグランドで、子どもたち

総額は三百八十一万円。

の単価一千四百五十二円。対価の

ガメートル。 一座 方メートル当り

中仙田小完全給 まちわびていた

年の干手小学校を第一号として、以来、赤岩小学校が三 いうことになります。 を開始しました。中学校としては、この仙田中が最初と む中仙田小学校の共同調理場が完成し、十一月から給食 みきっており、ちょうど一年おきのことし、仙田中学校 十九年に、橘小学校と上野小学校が四十一年に実施にふ 川西町の学校における完全給食の歩みは、昭和三十七

今月一日から 食を開 始

事務所、本棟工事を丸山工務所が 設計者は十日町市の黎田建築設計 こころで、との中仙田の給食棟

を、地元の小林三作さんが施工い 廊下が必要となり、その渡り廊下 あわせて約四十四メートルの渡り うど両校の中間になるため、双方 請け負ったほかに、位置が、ちょ

> かけて運搬車を購入したのが特徴 ぶのが容易でないため、六万円を と、長い渡り廊下を経て食事を運 保衡庫といった豪華な機械器具類 じょう機、三十一万五千円の熱風 契約を結び、三十四万七千円の洗 八月二日、飯口市島田義雄商店と いっぽう、内部設備については

のようになります。 これらの所要経費は、 ざっと次

内部設備購入費 給食棟本棟工事費 渡り風下工事賢 三六九万四 六八九万円 100万円 一二〇万円

しており、これを除いた四百八十 地元寄付五十万円がそれぞれ決定 として、国県補助金百五十八万円 万円が町費負担ということです 以上の施設設備費に対し、財源

されました。 り完成、二十八日に 検査も無事終了して 二十五日に予定とお に対する給食が開 十一月一日、三百二 十九人の児童、生徒 下の写真が、 工事は、さる十月

待ち遠 なゝ った給

中征田 押木恵美子

ぐにできあがった。 が中学校までまっ ピカピカのろうか

うのかわからないが、ステンレー くてどっしりした機械だ。 何に使 給食のせつ備が置いてある。大き ろに、写真やテレビで見たような 顔がニコニコとほころびてくる。 気のメータみたいなものがたくさ スの光ったとびらがあったり、健 この室から給食を運ぶのだ。 と思 見ていると、うれしくて、自然に んついているのもある。 それらを これが私たちのものになるのだ

てきてひとりひとりちがうごはん 命はみんながおべんとうを持っ なくなるから。

ち這しくてならない。

うと、十一月一日からの給食が待

おそるおそる通ってみた。中ご 食べられるのだ。うれしくって、 あたたかくって栄養のあるものを

2・5 一月三十日の夕方から

朔市氏が選ばれている。

治氏、研究調查委員長に羽鳥

協議会の計画委員長に自井原

なお、二月十二日には、

陳情のため出場。

は場整備事業の調査推進方を

また、この日根海町長は、

普及委員長に満水儀七の両氏

会の総務委員長に和久井精一

が選ばれた。

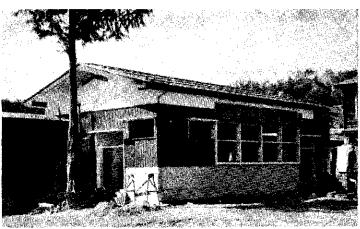
・1 ほ場整備事業推進協議 委員会の初会合をひらく。

連続六日間にわたって降り続

いた大雪に対処するため、午

そうを配るのだろう。まだ食べた うれしくってならない。休み時間 だろうけど、食べられるだろうか ことのないごちそうがきっとある だろう。どんなにして食料にごち もうそのことで話題はいっぱいだ などには、友達司志が集まると、 うれしくて、それでいてすこし どんなにして運ばん車を運ぶの

びしい。自分の好きなものを入れ られないと思うと、ちょっぴりさ てくださいと、ねだることもでき おぞろしいような毎日です。 とうも、あと十日くらいしか食べ おかあさんの作ってくれるべん 2 12 2・13 ◆津南町で一日興庁開 の影響、とくに適路事情を比 を設置したc の必要性、③災害復旧費の配 ①無雪道路の延長、②へき地 催。藤沢の茂野ミンさんが、 心に視察する。 前十時、役場に警害対策本部 の医療施設問題、原田の丸山 分比率、④中小規模のダム建 一徳さんが、①中小河川の適 河川昇格問題、②防災工事 三知事が来町し、 豪雪



1 20

千手水道建設促進特別

行託、継続審査とした。

作の請願を関係常任委員会に

動電話に関する請願など、七 おいて、仙田地区機村集団自

第一回町議会臨時会に

した給食様本棟の外 × 1小六年 食

は場整備事業推進協議

会の委員会をひらき、 、会長に

1 17 根津町長を選出。

これで水不足

ながいこと、水不足に悩まされ 「小深井戸掘削工事 そとで、四月二十四日、水源

ほどの予算を計上し、学校の裏手 つけ作業も済んで、一日百 ~ 百 果があり、その後、ポンプのすえ に着手した結果、予想どおりの成 こめて、この春、深井戸掘削工事 相国寺の境内地に新しい水源をも ものになろうとしています。 といった苦労も、ようやく過去の 水 筒を持参させることがしばしば 小学校の水とのたたかい。 児童に な水でしのいできた、いわば仙田 濁ったとても飲用にならないよう ととしの当初予算で百四十万円 って、みなさんにご報告いたしま 工事が完成するまでの経過をたど 契約してから、ポンプのすえつけ 万円で北越ボーリング株式会社と ボーリング工事を、請負金額百五

二十トンの揚水が可能であること

五月一日 ∥二十九日 同百五メートル。 77 11 三大日 同百一メートル 日 掘削深十七メートル 田小で起工式の ルに達し、この日、 掘削深八十メ--ト 掘削深三十五メート

ſЩ

六月十三日 百五十五メートルま での密差測定を実施 工事位置から渋海川ま

七月一日

排泥、揚水

トルに達する。

<u>+</u>

揚水、一日百 ~ 百

九月四日

ポンプを六十・五メー グ株式会社と契約。 西方円で北越ボーリン

トルにすえつけ試運転

ルニ・人員 掘削は百六十五メー 十四日 蠟気検廉実施。こん で掘削の トルと判断。 どの掘削をあと十メー

八月二十1三 水中ポンプすえつ

"

五日

ポンプ取付工事その他

付帯工事完了。

け工事を、請負額三十

二十トンの水量を確認

餇

黒

城

の 整 備

になりました。(十月末現在) 成すれば、すべてOKという状況

あとは、校内への給水施設が完

//

プ小屋 などろ 住宅など

おりです。

とは、すでにみなさんご承知のと 路の整備に重点をそそいできたこ

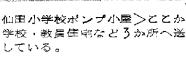
容ですが、いよいよ、開発も中核 の総額は九十万円、以下はその内

るととになり、公衆便所と野営場

ことしは施設の整備に力をいれ

① 公衆便所 「近ずいてきた感じです。

空胴コンクリートブロック造の



観光と同義語みたいなもの、とい

〃節黒城〃といえば、川西町の

の建設をすでに完了し、健全なレ クリエーションの場としての姿を

公衆便所と野営場を建設

っても過言ではないでしょう。

あらわしてきました。

なお本年の観光施設整備事業費

その節黒城も、いままで観光道



の所護、フィールドの整備、 改装の内容は、バック・ネット

いをみせています。

の新調で、これに要した費用は二 十万円。 スコア・ボードは商工会 ムラン・ゾーンとスコア・ボード

員の奉仕でした。 ほか、作業は、すべて野球協会会 と信組干手支店のご厚意によった

と迷プレーを展開している。 回ひらかれる大会を中心に、美技 用しているという盛況ぶり、年四 て、十月末現在、七十五日間は使 改装後の利用状況は、日数にし

五千円。 便所一棟を、 したもので、この経費は五十七万 *** 町営球場の改装工事

野営場のそばに建造 *****

、継続審査分>

バメートル、奥行き二・七メート ですから三坪というとと。 ルで、面積は九・七平方メートル メートルの建物です。 この便所の大きさは、閒口三・

② 野

下ルにわたってつくられている。 千円。二十五ミリの砕石を、厚さ 広場(三千平万メートル)、張芝 したもので、事業質は三十二万五 キャンプ場(六百平万メートル) 部分(二千平方メートル)を造成 五センチに敷きつめたニメートル 部分(三百平方メートル)、陰樹 約七千四百平方メートルの場所に 節黒城の前面、観光道路のわき

> 側に質問した。 設、以上の諸点について、 県

町の野球愛好家に親しまれている

〃サージタンク〃という通称で

期を除くと、連日のようににぎわ めてから、農繁期などの特殊な時 町営野球場が、この箸に装いを改

野 球 協 会 が 労 力 提 供

が発生。 十メートルにわたってなだれ 近くの小根岸地内で、輻約五 ◆国道二五二号線小海川

2・27 役場において、 仙田中 2・15 上野で、町政に対する 中仙田小給食施設建設打ち合 区で聴取を行なった。 要望の聴取を開始する。 九日仙田地区、二十日干手地 同じく十六日は橘地区、

3・5 この日と十二日の両日 3・8 第二回町職会定例会で にわたって四十二年度災害復 わせ会を開催っ 次の関係請願を採択した。 日工事の事務検査を実施する

高倉、小脇線黑道取付個所 仙田地区農集電話新設 小脇柳島農道開さく

大倉部落取付道路 一部改修(高倉)

下平新田部落四幹線改修

- 高倉、小脇線改良(小脇) 赤谷簡易水道工事

/新規請願/ 小脇消防器具置場建設

木 落防火用水 路

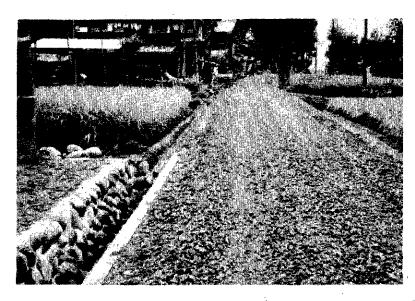
・千手小学校グランド拡張 ・高原田、山の根間の街路灯 高倉上山農道改修 四戸中子農道新設改修

元町中子農道簡**易舗装**

于于有線 放送施設 新設

中仙田谷內原水道組合助 室島地内道路改修 大白倉万柿坂道路舗

良と舗装を促進



町道の改修工事実施状況

| | 門垣の攻修工事先旭八伽 | | | | | | | | | | | |
|---------|-------------|---------|-----|------------|-------|------------------|----------------|--------|---------|----|--------------------------|---------------------------|
| 事 | 業 | 名 | 工事 | 量 | 工事 | 費 | 着 | 手 | 完 | 了 | 付 | 記 |
| 町 山手 | - 線 | 道 改修 | 3 2 | m 2 0 | 1,9 7 | 千円 7 4 | 月 8・ | 日 1 | 月 8・ | | | [25日 土建 |
| 町上改 | 西 | 道療修 | 1 4 | 4 0 | 4.8 | 3 0 | 8 • | 1 | 8 • | 13 | 施工 羽息 ほかに物件 | 25日 建設 補償 8,000円 |
| 町平改 | 見 | 道線修 | , | 90 | 3 8 | 30 | 8 • | 18 | 8 • | 30 | 入札 8月 施工 吉楽 ほかに用地を | 12日 土建 |
| 町高倉 | 小倉 | 道線 | 2 : | 14 | 5 4 | 8 | 8. | 24 | 9. | 12 | | 12日 建設 |
| 町高倉 | 小版 | 道線 | 7 : | 3 0 | 4 (| 0 0 | 7 . | 28 | 8 • | 8 | 地元 (小脇事 |)直営工 |

だちに工事に着手する予定である には ① 長岡、小国、松代線大倉 の修工事の入札を行なっているし 取付道路工事、② 町道沖立線道路 取付道路工事、③ 町道沖立線道路 取付道路工事、③ 町道沖立線道路

| 事 業 名 | 工事量 | 工事費 |
|-----------|-----|-------|
| 中沢川護岸復旧 | 9 m | 315+∺ |
| " | 47 | 970 |
| 新町田代線道路復旧 | 12 | 278 |
| 1/ | 20 | 410 |
| 1/ | 14 | 253 |
| 中仙田越ケ沢 〃 | 6 | 175 |

(千月二十四日入札分) するもの とんご年内に実施 道路網の整備と充実をはかるととは、と んごの町建設にとって、いわば至上命令の ようなものです。

学校統合はいうにおよばす、へき地の医療問題、商工業の振興、文化の発展、あるいは農業生産の面等々、町の重要施策をかたるとき、道路問題をぬきにすることはできません。

それだけ、道路に依存するところが大き いということであり、現状は、まだまだ改 良の余地があるということになります。

町としては、これまで以上に国や県に働きかけて、国、県道の整備に力を注いでまいりました。

また、町道の整備についても、地元のかたがたと手を携えて努力してきたところです。 ここに、その成果をまとめてみましょう。

国県事業の実施状況

| 自 | - / u | 5 V VU | |
|--|-------|--------|----------------|
| 工事名 | 施工地 | | 事業費 |
| 信濃川護岸堤防工事 | 上新井 | 140 | 7,5 7 0 |
| // // // // // // // // // // // // // | 木 落 | 200 | |
| 大沢川西線道路改良工 事 | 野口 | 300 | 2,0 0 0 |
| " | 小白倉 | 21 | 800 |
| // | 野 口 | 5 0 | 500 |
| ″ 道路舗装工事 | 11 | 240 | 2,000 |
| ″ 道路改良工事 | 木 落 | 40 | 4 5 1 |
| 11 | 野口 | 40 | 486 |
| # NO 1 Feb 10 10 10 No 24 11 No | 木 落 | 60 | 800 |
| 長岡小国松代線道路 舗 装工事 | 中仙田 | 273 | 1,987 |
| 〃 道路改良工事 | 小脇 | 63 | 885 |
| 11 | 大 倉 | 829 | 4,8 4 8 |
| "防雪工事 | 室 島 | 117 | 2,0 9 3 |
| " 安全施設工事 | 11 | 90 | 356 |
| 小千谷千手十日町線 道路舗装工事 | 野口 | 160 | 5,046 |
| // | 高原田 | 350 | 7,7 8 5 |
| . 11 | 上野 | 240 | 3,717 |
| " 道路改良工事 | 野口 | 200 | 1,000 |
| 〃 篩裝補修工事 | 千手 | _ | 1,8 0 0 |

4 員会開催 (委員九人)。 8 作を採択o を開始する。 ·15 千手小学校用地整備委 を実施、調査個所は二十四に 発生した融雪災害の被害調査 用地借用料協定ができる。 委員会の中間答申がでる。 に小林与作氏を選ぶ(委員数 会の初会合をひらき、 用地質収のため、対地主交渉 土地改良区が発足。 の県費調査が決定した。 定例会において、次の請願二 22 地改艮区の合併による新しい · 23 千手水道建設促進特別 ・1 手手土地改良区と橘土 る請願 仁田、野口水道布設、木落部落內幹線改修 、地内で融雪災害発生。 26 平場地区は場整備事業 大白倉消防施設設置に関す 設に関する請願 橋中、小学校水泳プー 神社線舗装 修促進 らびに河川改修 坪山部落下小路道路補修な 三領町道舗装 東善寺町内の県道側とう改 ●千等小学校グランド拡張 伊友線改修 国鉄との間に根梁道路 仙田地区開発促進委員 四月にはいって各地で 町営球場改装のため、 再開した第二回町総会 ◆国道二五二号線の田 委員長

用地買収、物件補償のほかに、地

であると考えております。 ことのないようにする配慮が必要

毎年災害に見舞われて、これも

元負担等々、関係者の協力なしで

の新設、改良には、多額の費用と

化があまりにも急激なこと、道路

それというのも、交通事情の変

支障のないようにすると同時に、 工事を一日も早く完成し、生産にいっぽう、災害復旧については

地域のみなさんに、不安を与える

にならないのが実情であります。 おりますが、なかなか意のごとく 道路改良を重点に施策をすすめて 発促進のため、国と地方において ず、この交通激化の解消、地域開 加にともなう交通禍があとを断た

であります。

をいただきたいの いうこともご理解 から限度があると

| 昭和43年度土地以及事業のあらまし | | | | | | | | |
|-------------------|------|------------------|-------------|----------------------------|----------------|----------------|-----------------------------|--|
| 地区名 | 工種 | 事業量 | 事業費 | 請負業者名 | 着 手 | 完 ? | 付 記 | |
| 鶴 吉 | 農地造成 | ha 55 | ≉# 9,460 | 太田開発 および北越ボーリ ング K K | 年月日 43・4・20 | 年月日 43・9・20 | 水源地下さく井ボ ーリング 深度 153m | |
| 仁 上ノ原 | 農地造成 | hа 5.8 | 6,539 | <i>H</i> | 43 - 7 - 20 | 43 · 10 · 30 | 水頭地下さく井ポ ーリング 架度 200m | |
| 高倉 | 農 道 | ". 500 | 1,547 | 川西震材工業 | 43 · 8 · 28 | 43 - 10 - 20 | | |
| 沖 立 | 農地造成 | ha 10,0 | 17,000 | | 43 • 10 • 25 | 44 - 5 - 30 | | |

らためてお礼を申しあげます。 の関係者各位のご協力に対し、あ とんど完了いたしました。この間 災害復旧工事は、一部を除いてほ

最近、車両の大型化や台数の増

政力では、おのす

昭和43年10月川西町土地改良区阪

担当者として

土木縣長

星 名 仁

作

かえていることからです。

化することは困難ですが、災害は 短期間で、たくさんの工事

動を消

は不可能な、数多くの問題点をか

完了・・・ 八月十七日 着手----八月一日

本年度の道路改良工事、および

下

路の



完了……六月一日

五月十三日

社

線

巻手・・・



町 平 事 渞 繷 0 況 装

施工・・・川西建材工業 入札----七月二十五 領 線

四日

完了・・・・六月二十 奢手•••六月七日 施工・・・中野建設 入札••••六月五日

施工・・・川西建材 入机・・・ 五月六日 工業

友 重

入札・・・八月十二日 線

| - | | <u> </u> | ACT HID SEC 1 | - |
|----|-----|----------|---------------|---------|
| 堪 | Ļ | 所 | 工事量 | 工事費 |
| 下 | 平 | 線 | 4 0 | 388 |
| 神 | 社 | 線 | 317 | 1.5 0 0 |
| Ξ | 領 | 線 | 60 | 389 |
| 友 | 重 | 線 | 298 | 590 |
| 鶴 | 吉 | 線 | 2 1 1 | 470 |
| 大白 | 倉万柿 | 坂線 | 158 | 774 |
| | | | | |

| 場 | | 所 | 工事量 | 工事費 | |
|----|-----|----|-----|---------|--|
| 下 | 本 | 線 | 4 0 | 3 8 8 | |
| _神 | 社 | 線 | 317 | 1.5 0 0 | |
| Ξ | 領 | 線 | 60 | 389 | |
| 友 | 重 | 線 | 298 | 590 | |
| 鶴 | 吉 | 線 | 211 | 470 | |
| 大白 | 倉万栉 | 坂線 | 158 | 774 | |

本年度の町道舗装状況

| 場 | | 所 | 工事量 | 工事費 |
|----|-----|----|------|---------|
| 下 | 本 | 線 | 4 () | 3 8 E |
| 神 | 社 | 線 | 317 | 1.5 0 0 |
| Ξ | 領 | 線 | 60 | 389 |
| 友 | 重 | 線 | 298 | 590 |
| 鶴 | 吉 | 線 | 211 | 470 |
| 大白 | 倉万柿 | 坂線 | 158 | 774 |

しみ、さらに、工事の負担金とな 生産面からみた損失と精神的な苦 りまえなのであり、そのほかに、 土地造成と異なり、復归してあた

無雪道路といわれてこのかた、

6 18

て る 工事で、

と負担にたよらざるをえないのは

もかかわらず、実際は、その熱意

たちで施工するのが理想であるに

工事は、地元負担ゼロというか

事業量がきわめて

多く、限られた財

過重問題と同様

の訪れを目前にしております。 があるでしょう。 に歩道を作る問題と取り組む必要 設事業の促進や、学校周辺の道路 はないかと思っております。 そのほか、こんごは交通安全施 ところで、また、いやな冬将軍

幣における道路改 くわきまえ、小部 良などの地元負担 被災者の実情をよ るわけですから、 考を要するので

いする次第です。 を得たいと存じ、この機会にお願 のから順次処理をつづけておりま 知ることができました。 可能なも を聴取したところ、土木課に関す すが、お気づきの点はぜひご教示 にいかにご迷惑をかけているかを るものがもっとも多く、町民各位

完了・・・八月三十日 着手……八月十八日 施工・・・羽鳥建設 線

野球協会会員の手によってバ

ック・ネットのとりこわしと

フィールドの整地に着手。

伯田小学校給水施設工

5・15 役場庁舎の一部増改築

事の地鎮祭を行なう。

工學が完成した。

看手···八月三十一日 完了・・・九月十一日 施工・・・・吉楽土建 入札•••八月十九日

大白倉万柿坂 施工・・・吉楽土建 入札···九月六日 線

5

中仙田小完全給食施設の位置

の現地合南協議会で、仙田中

議会および教育委員会

が決定した。

着手……九月十二日

完了……九月二十七日

6

きない仕事です。 力がなければやりとげることので 械力に加えて、どうしても人的協 付道路の各改修工事は、本年度は 町道木落線、および上新井堤防取 用地質収のみで、すでに買収済。 道路の除雪は、膨大な経費と機 買 収 町道下平新田線

6 · 14 仙田小学校深井戸掘削

待望の水脈を掘り当

委員会に付託した。

町道認定に関する請願を土厚 ひらかれ、小脇牛ケ首農道の

・8 第三回町議会定例会が

球大会を開催した。

成、十六日には完成記念の野 · 5 町営球場改装工事が完 所の調査を実施する。 ワンマンカー折り返し予定か

問題は、地域ぐるみで解決してゆ かなければなりません。 樹木の損傷、排雪場所の確保、家 未舗裝地の土砂利の処理、家屋や 年をおって排雲作業は困難になり 屋連帯地における路上放雪等の諸 企画室が、町政に対するご要望

6 25 6 22 6・20 ◆国鉄との間に、下原 客復旧工事入札を行なう。 格が決定した。 木落線拡幅工事について協定 個所指定調査が行なわれた。 の調査は毎年二回行なうもの の交通量調査を実施する。こ にわたって、主要県道と国道 ◆千手小学校用地買収の価 ◆この日と選十九日の両日 赤谷道路ほか四件の災 ◆仙田地区の地すべり

7 事業のダム予定地点を視察。 査官が来町し、かんがい様次 i 北陸農政局から地質調 千手小学校用地買収契

る過年災の復旧に、総力をあげて取り組んできたところです。 び八・二八災害(実際は、当町では八・二七集中姦雨の災害であった)の、いわゆ 昭和四十三年度の災害復旧事業は、四十一年融雪災害、四十二年融雪災害、 お よ

がつかすじまいということは、竅霊地で、災害多発地域として、当町のいちはんの かかわらず、遁年災の一部を残し、現年災(四十三年に発生した災害)には全然手 ざるを得ない状況になりました。数 年来という、大型の関係予算を組んでいたにも しかしながら、残念なことに、事業器と予算の関係もあって、若干の地区を残さ

悩みであり、これからも尾をひく問題といえます。

賢察いただいて、 いましばらくご たえないことです。 努力している。その間の事情をご しんぼうをい ただきたいところで **町も、全力をあげて早期復旧に**

十七 地区を完工 ことしは

の概要ですが、特筆すべきものは 一地区で一千五百万円というエ ところで、ことし実施した事業

止工事工法を採用した、その抜木 夢は、町営としては、そう、さら よび農用施設の復旧工事です。 録にとどめておく価値があります 的対策の内容は、こんご、農地災 にあるものではなく、地すべり防 田戸の地すべり地域内の燈地、お 害復旧事業の変遷を語るとき、記 また、赤谷豊道、高倉水路、上

見舞われて、はじめは少ない被害 も敷弱地盤を融雪水や集中豪雨に ました。 拡大してしまい、溪流侵食、崩壊 であったものが、一挙に大被害に て、それぞれ大きな工事量となり 地すべりの典型みたいなものとし

経済的、あるいは精神的損失につ そのまま、被災されたかたがたの はかばかしくないといううちみは

災害復旧が懲のことくゆかない

ながって、ほんとうにお気の毒に

されます。 治水施策の必要が、きわめて痛感 これらの被害を通じては、治山

7.31 仙田中、中仙日小完全

給食施設の入れを行なう。

7・25 上野道路改良ほか二件

陳情を行なった。

の道路工事関係入れがある。

益者の熱意、理解と協力のたまも のにほかなりません。 みならぬ努力にくわえて、地元受 直接実施した請負業者の、なみな んとか完工できたことは、工事を ともあれ、予定の十七地区をな

事 概 況

沢道 関係者代表佐藤忠蔵、入札八月 路

・**白倉水路** 完了・・・・十一月二十日の予定 着手:::八月十一日

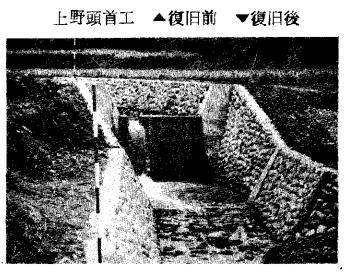
一日、施工は吉楽士建

関係者代表にロ字一、入札八月 一日、施工は吉楽土建

野頭首工、赤谷水路等は、いずれ

高倉 水路 完了・・十月一日 卷手···八月十一日

着手……八月十一日 關係者代表資木金作、入札八月 一日、施工は吉楽土建



8.5 仙田中、草仙田小完全

進協議会の総会をひらく。

給食施設工事址鎮祭o

8

富上准貸付内示がある

8.3 川西町赤盤整備事業推

審復出工事入札。

8・1 藤沢農道はか七件の災

| No. | 地 | 区名 | I. | 俥 | ・工事量 | ŀ | 工事費 |
|------------|----------------|----------|----|----|-------|------------|-----------|
| 1 | 藤 | 沢 | 道 | 路 | 3 9 | m | 835刊 |
| 2 | 小匠 | 1倉 | 水 | 路 | 34 | m | 1,935 |
| 3 | 高 | <u>倉</u> | 水 | 路 | 74 | m | 3,119 |
| 4 | 高 | 倉 | | Ę | 0.2 5 | <u>h a</u> | 412 |
| 5 | 赤 | 谷 | 道 | 路 | 104 | m | 3,119 |
| 6 | 赤 | 谷 | 水量 | 各① | 58 | m | 713 |
| 7 | 赤 | 谷 | 水晶 | 各② | 5 2 | m | 516 |
| -8 | 田 | 戸 | 水图 | 各① | 農地保全 | ほか | 1 4,9 9 3 |
| 9 | <u> </u> | 野 | 頭官 | 工 | 1 | 加几 | 1280 |
| 1 0 | <u> </u> | 山田 ! | 水 | 路 | 121 | m | 760 |
| 11 | 岩 | 瀬 | 道 | 路 | 16 | m | 389 |
| 12 | 大F | 7倉 | 水 | 路 | 9 9 | m | 1,088 |
| 1.3 | | 是岸 | 頭官 | 工 | 1 | が所 | 410 |
| 14 | 霜 | 条 | 水_ | 路_ | 16 | m | 255 |
| 15 | 室 | 島 | , | ₽ | 0.1 | ha | 483 |
| 16 | \blacksquare | 戸 | 水量 | 各② | 10 | m | 176 |
| 17 | 赤 | 谷 | 水匙 | 各③ | 2 4.5 | m | 335 |

43年度災害復旧事業の工事費

7・18 函鉄との間に寺ケ崎地

交通公園が完成の

内類さく工事について話し合

7・13 千手小学校の校地内に

事査定申請個所を巡察

7・11 赤谷ほか、災害復用工

7.24 町長、議長以下十四

いが成立する。

が出県して、国県道の整備に

ついて、県議会など関係節に

8 三件を継続で造とした。 ち、中仙田中の島震道関心と 定に関する請願を採択する。 に関する諸顎のみ採択、 前回継続審査になった町点線 ・圧戸、藤沢線田戸地内改修 北田保育所玄陽改築 赤谷へき地保育所建設 さらに、新規護願四件のう また、この様会で、町の使 第四回町議会臨時会で

7・2 南原など、昭和四十年 7・3 伊友月見ケ原に公園建 設のため、町のブルドーザー 四十一年災害の残量調査を実 価の支払いを行なう。 約書を手交、この日づけで対 こよる整地作業を開始。

完了・・・・十一月二十日の予定

月一日、施工は吉楽士建 着手……八月九日 関係 省代表高橋惣八郎、入札八 十一月二十日の予定

関係者代表獲辺音治、入利六月

関係者代表登坂政平、入札六月 着手・・・ 六月二十九日 二十二日、施工は吉楽土建

赤谷水路② 関係者代表長谷川力一、入札八

着手……八月八日 月一日、施工は川西建材工業 関係者代表押木二吉・樋口栄助 完了···九月六日

上野頭首工 完了・・・十一月十日の予定 着手……六月二十六日

入札六月二十二日、施工は丸山

赤谷水路① 関係者代表登坂敬恒、入札十月 完了---六月十八日 一日、施工は吉楽土建

着手……十月九日 完了・・・十一月二十日の予定

小根岸頭首工 完了……九月一日 若手···八月十一日

着手----六月二十五日 二十二日、施工は羽爲建設 関係者代表水品真治、入札六月

関係者代表引聞子平、入札十月 完了……七月十四日 日、施工は吉楽土建

碧手···十月九日

復旧前 復旧後

大白倉水路 関係者代表中村平作, 入札八月 関係者代表篇橋敏夫、入札六月 完了・・・→ | 月二十日の予定 着手···八月九日 翼係者代表登坂 茂、入札八月 完了……七月二十日 看手・・・六月二十八日 二十二日、施工は川西建材工業 完了: - 八月二十八日 看手・・・六月三十二 二十二日、施工は羽鳥建設 一日、施工は音楽士建 一日、施工は羽鳥建設

室

関係者代表南鬟力蔵、入札十月 着手・・・十月十二日 P 施工は川西建材

田戸水路② 関係者代表樋口虎一、入札十月 完了----十一月十日

着手…十月十四日 完了……十一月十日 日、施工は丸山工務所

赤谷水路③

関係者代表小川東平、入札八月 完了・・・八月十八日 着手……八月十日 一日、施工は言楽土建



例的な助成措置もあります。 国的な規模で実施される干害 排除事業に対するものや、全 応急文策事業に交する臨時特

赤谷道路

田戸地すべり▲復旧前 ▼復旧途中

は増大するしくみです。 出基準にもとづいて、補助率 上の場合、別に定められた館 害を対象に、農地五十パーセ 率は、一カ所十万円以上の災 災害の復日に対する国庫補助 用施設の損害、いわゆる農地 き起された農地、および農業 戸数の平均復日額が八万円以 セントですが、市町村の被災 ント、農業用施設ホ十五パー このほか、たん(塊)水の 異常な天然現象によってひ

> 改訂した。 れ、ブルドーザーの使用料を 用料条例の一部改正が行なわ

8・12 友重線道路舗装はか三

8・25 寺ケ崎虔道橋ほか七カ 作の土木関係工事人利

8・28 小脇道路災害ほか十五 所の融雪災害査定の カ所の融雪災害査定

9・7 ◆第五回町議会定例会 を採択し、あらたに次の請願 を継続審査することにした 地保育所建設ほか二件の請願 で、前回継続審査の赤谷へき · 霧谷地内三峰農道新說或修

倉庫の建設助成請願 に関する請願 加田農業協同組合政府指定 倉庫の改修、ならびに購買

9・8 合併土地改良区の総代 ことを譲決した。 会をひらいて、新しい名称は 成立した。委員定数は四十人 町総合開発計画審議会条例が [川西町土地改良区] とする ◆向じ議会において、川西

建設省査定が行なわれた。 ・9 上新井地内の堤防災害

9・23 上野地内に信号機を数 9・12 県による公共土木災害 置するため、予定個所の実地 復旧工事完工認定調查與施。

なう 道廃止のため現地で調査を行 木落渡船場線の一部町 調査を行なう。

9.27 大沢、川西線木落地内 鉄側と設計協議の の道路改良工事について、 15

10・1 南原水路ほか三件の災 害復旧工事人和

防設 防火水槽な を新設

のは次の五件です。

前二件と同じ、本年中に着工3 上野防火水槽・・・・大きさは ②塩辛防火水槽・・・大きさは 円十一月三十口完成予定。 岩瀬と同じ、工事費三十五万 完成の予定の 六万円、八月十日完成。 十立方メートル、工事費三十

⑤ 沖立火の見やぐら・・・・鉄骨 ④ 小脇消防ポンプ置場・・・ 面 三脚、工事費は十五万円、 真ができあがったポンプ置場 円、八月三十日完成、上の写 成は十月三十日。 七五平、工事費ニヤ万

玉 鉄第四期

当時の原内閣が、石炭節約と関東 始めたのは大正八年七月といわれ 前のととである。 によるもので、いまから四十九年 のため、電源開発を決定したこと 東海道一円の電気運転用電力確保 国鉄が、信濃川水力発電計画を 格的に再開。二十六年に一、二号 和十九年第三期工事に着手、終戦 まで達っするようになった。 機、二十七年に三号機がそれぞれ を経て、二十三年十月、工事を本 の最大出力は十二万キロワットに いっぱう、小手谷発電所は、昭

くもので、第一期工事の着手は距 谷発電所という二段開発にもとづ 千手発電所、三、四期工事が小子 力を東京近郊へ送電した。 翌十二月から六万キロワットの電 和六年四月、完成が十四年十一月 発電計画は、第一、二期工事が 完成している。 現在の第四期工事は、三十二年

胚和二十年三月には、千手発電所 その後、第二期工事がすすんだ 再着手されたものである。 を一時中止し、昭和四十一年六月 が完成したまま、都合により工事 六月着工、三十七年十二月四号機

の工事区域は、第一工区と呼ばれ 川西町に関係のある水路すい道

> に連絡をとりながら工事をすすめ って共同企業体を構成し、お互い 前田建設、鉄建建設の四者がはい 上区の南から順に西松建設、間組

商和三十六年十二月中止時まで網

この工区のおおよその工事量は

トル前後の長さを担当している。 りすすんでいた南沢の手前から、 中間点あたりという計算になる。 ょうど前田建設の受け持ち区域の 四者が、それぞれ下三百五十メー 北へ約五千四百メートルの区間で 川西町と小千谷市の境界は、ち

ら間断なく落ちてくるしずくの、 及してゆくように、消えてはまた く音が、トンネルの奥深くまで波 いかにも軽快にヘルメットをたた 「パチッ」「パチッ」と、上か

トルのすい道を作るこの工事、む おそるおそるにしか足は進まない たまりでも、 しろうとには、 いか かしに比べると、ほぼ三分の一の にも深いふちのように思われて、 が、ほの暗い足もとのわすかな水 長さのトンネルを歩いてみた。 ルで天井から側面とおおっている - トル、さろに下へ、直径七メー 下原口の縦坑の深さは四十一メ 漏水のひどいところは、ビニー

配慮もゆきとごき、三期のころと 期からの縁で、採算ぬきで取り組 地下のこと、当初の設計よりも三 んでいるむきもあるようだ。 割万工事置がふえる見込み。第 っているのだが、なんといっても 地質は変わらず、すべてうまくい すべてが機械化され、安全面の

① 岩瀬防火水槽・・・・大きさ四

消弱施設で、ことし新設した

建設信濃川出張所前の縦坑から等

下原の部落を右に抜けて、西松

ケ崎の縦坑まで、約干メートルの

事中のトンネル上層部で、壁面は トロッコの線が走っている。 終りをつげる。(左の写真は、工 すべてポンプクリート。この下を 工事は、来年九月いっぱいには

千谷市山木調 機と水路すい れていた五号 とのうち残さ り、再開後は せることであ 道十一キ 旨 水路ずい道 ル、それに小 九十五メート および余水路 トルにおよぶ の全計画は、 七百十二メー 機、十五キロ 四号機と五号 一本を完成で 第匹期工事

の完成を、ひ 川への余水路 整池から信渡 しているので たすらにめざ

へ数でじゅうぶんだという**。** 10 15 10・4 千手小学校用地買収购

10 19 10・16 下手小学校グランド拡 式を挙行した。 の彰徳碑ができあがり、除幕 張工事は、この日、町のブル 道路状況の視察を行なった。 ドーザーにより整地作業開始 仙田上の島に、小林氏 町の交通対策協議会が

10・21 第六回町議会臨時会で 強とした。 新設改修に関する件を採択、 を常任委員会に付託、継続疑 あらたに、次の新規請願二件 た請願のうち、霧谷三峰機道 前回から継続審査になってい

・室島大島つり橋架設に関す 上野、橙 る請願 仙里三農 () 高合併

害復旧工學ほか五件を入札。 する件も、この譲会で譲決。 落渡船場線の一部町道を廃止 するために堤外地となる、木 助成に関する請原 また、建設省が堤防を発影

11・5 県教育庁による、仙田 11・2 沖江線道路改修ほか 10・26 建設機械 (ブル) 車庫 10·24 新町、田代線の道路災 现場検査を実施 件の工事を入れに付する。 中、中仙田小給食施設設備の 新郷工事の入札を行なった。

11.10 合同竣工式を午前十時 異等約四百人。 式後の祝宴に は、役場職員の出演で民謡お 工事関係部落の代表、役場職 参集者は、米さ、工事施工者 三十分から千手小学校で挙行

どりなどをひろう。

室北村唯一、

(文貴・企画